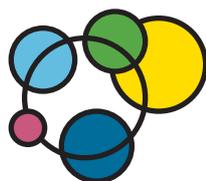


そわにえ
Soigner



第15号

『Soigner (ソワニエ)』とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2008年10月15日発行

発行 / 東京訪問看護ステーション協議会 (責任者 森山弘子)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
社団法人東京都看護協会内
TEL : 03-5229-1534・1520 / FAX : 03-5229-1524

INDEX /	My Boom
さんぼみち	委員会報告
厚生労働省って	Welcome
ステーション紹介	編集後記他



『翳雲』和歌山県・高野山大門にて 横田喜久恵さん撮影

さわやかな風

元新宿訪問看護ステーション所長 横田喜久恵

爽やかな秋となりましたが、今年はことのほか猛暑で、一軒一軒の訪問は体力勝負、本当にご苦労様でした。

私は今から6年前の2002年9月まで10年近く、都心にある訪問看護ステーションの所長をしておりました。そして現在は、訪問看護師として仕事をしていた立場から、老人をかかえる家族の立場で訪問看護の有難さ大切さを感じております。

2006年春、当時88歳だった義母のことが心配でしたが、還暦を機に、和歌山県の高野山にある高野山大学のスピリチュアルケア学科3回生に社会人入学しました。義母のことは、健康管理と家事援助サービスをお願いすれば日中は何とか一人で生活することができると考え、早速介護保険サービスを申請しましたところ、要支援1と判定されました。当時元気な義母は他者の訪問に気を使うとって消極的でしたが、訪問看護師とヘルパーさんは義母の気持ちを心得て対応をして下さり、すっかり馴染み、訪問して下さるのを楽しみにするようになりました。お蔭様で、私はケアマ



ネージャーと二人の方々の応援を受け、安心して大学生活を送ることが出来ました。

しかし、今年90歳を迎えた義母は、私が卒業するのを待つように、3月家の中で転

倒し右肩関節を脱臼してしまいました。それで、それまで何とかできていた生活が一変し、今度は要介護3と認定されました。現在、義母の話し相手をしながら、朝の身支度に始まって三度の食事、洗濯、掃除、買い物、入浴介助と毎日があっという間に過ぎてゆきます。

そんな中、健康管理や異常の早期発見はもちろんですが、単調な生活にあたらしい風を運んでくださるのは訪問看護師さんやホームヘルパーさんです。このさわやかな風が義母にとって、とても新鮮に感じられるようです。安心してお任せできる家族以外の支援者がいることが、在宅介護を長続きさせるのではないかと思います。これからもデイサービス、そしてショートステイも受けながら、在宅介護をする家族の立場をじっくり体験してゆくつもりです。そしてあらためて在宅支援とは何か今までの反省を含め考えてまいりたいと思います。



厚生労働省って……



私たちの仕事に一番関係のあるお役所・厚生労働省。でも、近くて遠い存在。厚生労働省って何をしているところなのかしら？



今回は厚生労働省のお仕事について、また、その中で看護技官はどのような動きをされているのかをご紹介します！

大臣官房

[厚生科学課]

科学技術に関する総合的企画・調整を行うところです。

看護技官はその専門性を生かし、厚生労働科学研究費等に係る企画・評価を通して、ライフサイエンス分野の科学技術の推進を図ることが期待されています。

医政局

[看護課]

保健師助産師看護師法に関することと看護師等の人材確保に関することが業務の柱です。中長期的な観点にたった看護基礎教育のあり方や新人看護職員の研修制度、訪問看護の推進等についても取り組んでいます。

看護技官は課長を含めて6名が配置されており、最も看護技官の多い課です。

[総務課 医療安全推進室]

医療の安全を確保し、医療に対する国民の信頼を維持するため様々な施策に取り組んでいます。

看護技官は、医療安全管理者の業務指針等の作成、診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する検討会やモデル事業の企画運営、周産期オープン病院化モデル事業の推進、研究事業の企画調整等に携わっています。

[研究開発振興課 治験推進室]

質の高い最先端の医療が提供できる治験実施体制を確保し、日本発のイノベーションが創出されることを目指して、様々な施策に取り組んでいます。

「治験推進指導官」は室内唯一の**看護技官**で、我が国の治験・臨床研究のコスト・スピード・質を改善するとともに、被験者に安心して参加してもらえるよう、医療機関の体制整備とそのための諸会議開催に関わる業務等を行っています。

健康局

[総務課 保健指導室]

地域保健法等に基づき、地域住民の健康の保持増進を目的として、都道府県、市町村、職域等において活動している保健師が行う健康づくり事業や、保健指導等について、企画及び立案、指導を行っています。

[疾病対策課 臓器移植対策室]

臓器の移植に関する法律等を所管しています。

看護技官は、脳死下における臓器移植において、その公平性・透明性等を確保する観点から、実地検証及び検証会議の運営に参画しており、また、脳死下でのドナー家族の心情把握等を行い、臓器提供時の心理・社会的な問題を明らかにすることを通じて、今後のより良い移植医療の定着に資する方策等について検討しています。

雇用均等・児童家庭局

[総務課・児童虐待防止対策室]

虐待防止対策室では、児童虐待防止法及び児童福祉法に基づき、虐待の発生予防、早期発見・介入、保護・支援が切れ目なく実施されるよう児童相談所を中心に、福祉・保健・医療の関係機関の対応を検討しています。

看護技官は、主に生後4か月までの全戸訪問事業や育児支援家庭訪問事業の推進、産後うつや精神障害を持つ母親への支援の検討、虐待対応医療機関の検討や死亡事例の検証等に中心的に携わっています。

[母子保健課]

母子保健課では、母子保健法と母体保護法に基づき、妊産婦、児童を対象とした各種施策を立案、実施しています。**看護技官**は、市町村及び保健所において行われている家庭訪問や妊産婦、乳幼児健康診査などの母子保健事業の推進、妊娠出産から子育てまでの母子保健分野の取組をまとめた国民運動の推進、妊産婦に優しい環境を作るため「マタニティマーク」の普及や安全・安心なお産の体制づくりの支援、保健師、助産師や看護師の技術向上のための研修などに関わっています。

社会・援護局

[福祉基盤課・福祉人材確保対策室]

社会福祉士・介護福祉士の養成や人材確保が主な仕事です。

看護技官は2名配属されており、介護福祉士の養成施設のエデュケーションや基準の見直し、国家試験の委託機関への指導・監督、外国人介護福祉士の受入等に関する業務を行っています。特に、介護技術等の内容について深い理解と判断が求められますので、介護現場等の実態を丁寧に把握しながら、制度が現場サービスから離れないように政策に反映させるのも**看護技官**に求められている役割です。



看護技官の配属されている課 ()



[障害保健福祉部・精神・障害保健課]

精神保健福祉施策に基づき、入院医療中心から地域生活中心へと大きな改革を進めており、精神科医療の機能分化・連携促進、退院促進、地域保健医療福祉の充実強化、普及啓発推進等に取組んでいます。

看護技官として、精神科訪問看護の充実・強化、地域保健行政における精神保健業務推進の支援、ケアマネジメント推進、PSW等精神科領域のコメディカルの人材育成等に携わっています。

老健局

[老人保健課]

老人保健課は、老人保健法に基づく保健事業全般に関すること、介護保険制度における要支援・要介護認定に関すること、介護報酬に関すること、介護予防に関する業務等を所管しています。

看護技官は、これら制度の運営及び改定等に係る技術的視点からの企画提案・助言、自治体及び関係機関職員等に対する制度説明のための全国規模での研修・会議等の企画運営、介護報酬上の技術評価に資する研究調査事業の企画・審査等に従事しています。

[計画課]

介護老人福祉施設、地域密着型サービス拠点の整備や運営基準、認知症対策、高齢者虐待防止、老人保健福祉計画等に関することが主な仕事です。介護老人福祉施設は、入居者の生活の質の向上や終の住処として役割を果たすことが課題となっています。

特に、**看護技官**は、ユニットケアの推進、特養での介護・看護への助言や問い合わせへの対応、感染対策、研究事業、研修を円滑に実施するための他機関との連絡調整を主な業務としています。

保険局

[医療課]

医療機関の主な収入源である“診療報酬”に関することが主な仕事です。診療報酬は原則2年に1回改定されますが、改定に向けた検討は中央社会保険医療協議会という場で行われます。

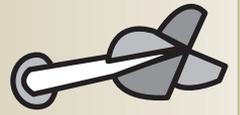
看護技官は安全で質の高い医療・看護を提供するために調査や研究を行ったり現場に足を運んだりするなど、広い視点から医療提供について情報収集し、診療報酬体系の策定を進めています。

[国民健康保険課]

国民健康保険の保険者および国民健康保険団体連合会に対する助言・指導が主な仕事です。

看護技官は2名体制で、特に、保健事業実施指針を考えた、市町村国保が実施する保健事業や、特定健診・保健指導実施への助言・指導、あるいは都道府県や国保連合会に対し、保険者支援のための研修実施等を担っています。

この記事は厚生労働省ホームページより抜粋し、記載いたしました。
最新の情報につきましては、
<http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kango-top.htm>
をご参照下さい



ステーション紹介

日の出ヶ丘訪問看護ステーション

こんにちは。日の出ヶ丘訪問看護ステーションです。私たちのステーションは、東京の西方にある日の出町にあります。日の出町は人口15,000人、高齢者率は25%近い町です。

本当にここは東京?!と思うほど自然が豊かで四季の移り変わりを肌で感じられる所です。西北部には、温泉もあります。春は桜が町中に咲き誇り、夏は河原で魚釣りやバーベキュー、秋は紅葉、冬には川に渡り鳥が飛んできます。1年を通して旬の野菜や果物が美味しく、近くの農協で安くで手に入ります。時々、自分の家の畑で採れた野菜等をお裾分けさせていただくこともあります。採りたて新鮮野菜の美味しいことといったら……これで、訪問看護が辞められなくなります?

また、利用者様のお宅に訪問し、野鳥の声や川のせせらぎに癒されることもあります。野鳥や昆虫はもちろんのこと、利用者さんのお宅の庭先にタヌキやハクビシンが訪れることもあります。ある日のことです。つるつる温泉の麓にあるお宅に訪問しました。いつものようにお部屋に通していただくと、コタツの向こうにヘビが……!!すると利用者様は一言、「ああ、アオダイ(青大将)だな」といって平静。よくよく話を伺うと、ヘビは家の守り神だから良い事なのだから。担当看護師は、その日の訪問時間中、利用者様よりヘビの方が気になって仕方が無かった……そうです。

そんな日の出町ですが、平成13年には圏央道も開通し、日の出インターも開設されましたので、気分転換、ドライブがてらどうぞいらして下さい。

このような地域での訪問看護は、移動手段が殆ど(全てと言って良いくらい)車です。このところの温暖化のためか、以前ほど雪が降る事は少なくなりましたが、雪が降った時の車での訪問はさすがに緊張します(特に、南国育ちの所長はドキドキしています)。訪問先での駐車場に悩む事は殆どありませんが、一番の悩みはこの所の原油高!!!!報酬には反映されませんから……辛いところです。「値上げする」と噂があると、ガソリンスタンドにいて満タンにして帰ってくる毎日です。なるべく近くの利用者と訪問スケジュールを調整したり、エコドライブの勉強をしたりと、看護以外のところで、気を遣うこともあります。



こんな細い道を進みます



道路脇に咲く彼岸花

さて、私たちのステーションですが、平成4年8月に開設し、今年で17年目になります。当時、東京都内での開設では、早いほうだったと聞いています。昨年12月に新しい事務所に引っ越しをしました。周囲が木々に囲まれているためか、アリや蚊、蜂等の訪問者の対応に悩まされています。

昨年度は看護師不足に悩まされ、人員的に非常に厳しい状況で経過したこともありますが、現在は、看護師4名、理学療法士1名となりました。新入職者も多く、訪問看護の経験年数は短いですが、毎日の朝夕のカンファレンスを開き、一人で悩まないようにザックバラに話しができる環境を作っています。入職時は、可能な限り同行訪問を行い、少しでも安心して一人で運転して訪問できるように調整しています。実は、まだ、24時間体制はとっていません。利用者さんが安心して自宅で生活していけるよう、24時間体制の訪問看護を……と現在、様々な点から思案中です。

私たちのモットーは「ひとびとのであいところをたいせつに、いつもえがおでかんだする」です。利用者さんの笑顔を大切に、そして、その笑顔で私達も元気をいただけるように楽しく訪問を続けていきたいと思ひます。(井出洋子)



カンファレンスの様子



駐車場に並べられた訪問用の車



スタッフの皆さん
(前列左から二番目が所長の井出さん)

今回ご協力いただいたステーション

医療法人社団 崎陽会(きようかい)

日の出ヶ丘訪問看護ステーション

所長 井出洋子

〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町大久野 310

TEL 042-597-7080 FAX 042-597-6969

E-mail: ho-mon@hinodehp.com

http://www.hinodehp.com/

実現しました! ゴルフの発祥地
セントアンドリュース の旅

私は7年前からゴルフにはまってしまい、ゴルフ仲間もたくさんできました。その中でも、特に親しく行動をとめている（自分も含め）6名のゴルフ仲間がいます。国内、海外旅行にゴルフの企画のないことなし。いつも口癖は、「いつかは、セントアンドリュース」でした。何故なら、つてがなければ行けるコースではないため、夢の夢。でも、一度は行きたいゴルフの聖地なのです。

ある週末、たまたま行きつけのワインバーで、カウンター越しに一緒になったお客さんに趣味のゴルフの話や、セントアンドリュースのことを話していました。するとそのお客さ

んに「私の知り合いにメンバーさんがいますから、頼んであげましょうか?」と!!!。私は、とっさに携帯でゴルフ仲間の一人に電話していました。ゴルフ仲間から返ってきた言葉は、もう感激をあらわに喜んでいました。それから着々と準備が整い、夢のようなセントアンドリュースの旅が実現したわけです。

この6名の旅行は、大変貴重な体験でした。また何年後には訪れることができたらと思っています。

(野崎クリニック訪問看護ステーション H.Y)



01



03



04



05



02

- 01 ホテルから眺めたセントアンドリュースのゴルフ場。あまりの雄大さに感涙しました。
- 02 セントアンドリュースのホテル
- 03 イギリスの食事はあまり期待せずにきましたが、結構美味しく時代の変化を実感しました。
- 04 ラウンド後の夕方に、ホテル脇にあったショートコースをお遊び程度にラウンドしました。夜8時になってまだまだ外は明るく、冷たい風が吹いてきて夕方になったのかなと感じました。そんな中、私たちのほか誰もいないショートコースに地元の親子二人（父と息子）がラウンドしていました。まだ4歳くらいでしょうか、ちっちゃなゴルフバッグにクラブ、楽しそうでした。コースを終えると父と息子が握手までしていた光景が忘れられません。
- 05 キャディさんは大きなイケメンの男性からダンディな男性でマンツーマン！言葉も通じず、いったいどうなっちゃうの〜と心配になりましたが、ゴルフに囲境はありませんでした。とても親切に礼儀正しく接して下さりました。スルーでラウンドなのでキャディさんもお腹が空くのか、途中カシューナッツをポリポリ食べていました。私は、ゴルフバッグに忍ばせておいた柿の種をキャディさん全員に差し上げたところ、「OH! ジャバニーズナック?」美味しそうに食べていました。セントアンドリュースに柿の種のいい香りが漂い、何とも言えない光景でした。



(エスポワール)
Espoir
 55TH ANNIVERSARY LIMITED MODEL

より快適に、より美しく、
 お客様満足を追求しつづけて55年。
 私たちの技術と熱意の結晶です。



東洋羽毛首都圏販売株式会社
 営業所：東京・西東京・南東京
 お客様相談室 0120-410840
<http://www.toyoumo.co.jp>



55周年記念商品
エスポワール
 (国内自社工場製造品)



各委員会からの報告

総務会報告



去る5月、東京都より管理者研修の委託を受けました。

突然の話であり一瞬とまどいましたが、訪問看護ステーション数が予定に反して伸び悩んでいるにも関わらず、今後も在宅療養が推進されるには、訪問看護ステーションが中心になっていくこと。そのためにはスタッフの定着化を図る必要があり、その定着化の一環として、管理者研修の実施という東京都の考えに対し、協議会でも、社会において訪問看護が高い評価を受けるためには訪問看護ステーション全体の質が向上されるべきであること。また、孤立しやすい管理者がいかにステーションを運営し、発展させていくためには管理者研修の必要性があると感じていたことに、タイミングよく合致した結果と言えるでしょう。

しかし、管理者研修を主催するということはそう簡単ではありません。顧問の川越先生をはじめ、理事の佐々木さんや宮崎さんの協力のもと、研修支援委員を要請することから始まりました。

管理者研修の主催者としてのノウハウを持ち合わせているわけではなく、こういった内容での研修にするかということが検討されました。

東京都からは一応、研修カリキュラムや研修内容の提示を受けましたが、その通りでなくとも構わないという話に加え、一般的な管理者研修はすでに事業協会や財団、その他の機関でも行われていることから、同じようなプログラムで行うのではなく、孤立しがちな管理者がネットワークを構築し、管理者としてしっかりビジョンを持ってステーションを運営できることを主眼に考えました。また研修対象者も新人管理者、もしくはこれからの管理者候補者や管理者を目指す人を対象としました。

一方的に話すことを主とした研修ではなく、グループワークを主にしていくこと。グループワークを有意義に行うことによって、自らの気づきや研修後の業務にフィードバックできるような研修をめざしました。

カリキュラムの細かな内容作成に関しては若手の委員さんが中心に進めています。まだまだ準備途中であり、11月の研修までにはやるべきことが多く残っていますが、満足していただける研修にしたいと思っております。

貴重な土曜日の三日間であり訪問看護の傍らで研修参加は大変になるでしょう。しかし、管理者としての自分を高めるために、一人でも多くの参加をお持ちしております。

(訪問看護ステーションけせら：阿部智子)

訪問看護推進委員会報告



訪問看護推進委員は、今年新たに1名のメンバーを加えました。訪問看護ステーションコスモスの地域看護認定看護師の平野智子さんです。まだまだ在宅の現場で活躍している認定看護師が少ない中で、積極的に訪問看護を推進するために力を貸してくれる貴重な(奇特な?)方です。皆様宜しくお願ひします。

今年度の活動では、5月に看護フェスタの初参加、9月には来年度の介護報酬改正に向けて要望書を提出しました。介護報酬改定の要望書では①特別管理加算の有無にかかわら

ず、退院当日の訪問についても報酬を。②ターミナル加算の引き上げを。③ターミナル加算算定要件にある、24時間以内の訪問が必須要件の撤廃を。の3点を挙げました。介護及び医療報酬については、今後も整合性のある内容へ検討してもらえるように要望してゆきたいと思っています。

今後の活動予定・方針としては、小規模で頑張っている訪問看護ステーションが、元気に在宅を支えていけるよう支援するために、具体的にどうしたら良いのかを検討・実施していきます。ただ、そのような活動には現場の皆様の声がとても重要になるため、ぜひご意見・ご要望を届けていただければ助かります。

(蒲田医師会立訪問看護ステーション：国分加寿美)

ブロック支援委員会報告



本年度より北多摩ブロックを2つに分け11ブロックでスタートしました。殆どのブロックで顔合わせを兼ねたSTブロック連絡会を開き今年度のブロック活動計画を立てました。

今年度は昨年に引き続き、病院と訪問看護STとの連携を図る為の勉強会と昨年複数ブロックで開催の、伊藤茂先生の「看護師が知っておくべき死の知識、遺体の変化について」

が好評で、今年度も多くのブロックで講演会を予定しております。

また、ブロック連絡会での各STの現状と課題では多くの事業所で人材不足の問題を抱えています。人材不足によりスタッフの教育が思うように進められない。事業所内・外での研修会への参加も時間の調整が難しくなっているのが現状です。また昨年より引き続き、加入ステーションが頭打ちになっているので、講演会の案内などを通じて加入を勧誘していく計画です。

(元八王子訪問看護ステーション：城所シズ子)

研修委員会報告



8月23日(土)看護協会会館にて、「訪問看護の来た道・行く道」講演会を川越博美先生と宮崎和加子先生をお招きして実施しました。第一部講演会の参加者は63名、第二部懇親会の参加者は25名。参加者こそ少なめでしたが、どちらも訪問看護に魅力を感じている会場の熱気が伝わりました。

宮崎和加子先生は、訪問看護のパイオニアとして在宅療養を支える看護師としての思いに溢れたパワフルな講演で、準備した資料をはるかに超える内容でした。また、川越先生と全国の訪問看護ステーションを訪問することになった経緯や実際訪問したり同行訪問したりした中での驚きや感動が話されました。大きなかやぶき屋根を利用した民家のグループホーム、一看護師が億という金額を借りてまでも建てた療養通所介護所、訪問看護の枠にとらわれないで常に地域に求めら



れているニーズに対応とする独自の多機能ケアの推進。どれも目を見張る実践でした。同じ訪問看護の仲間が全国で、それぞれの地域に根ざした理想を追い求めて奮闘している様子が伺えました。

川越博美先生は、東京訪問看護ステーション連絡会から協議会への歩みを振り返りながら、エビデンスの重要さだけでなく臨床経験に基づく一事例一事例の積み重ねの大切さを強調。在宅で24時間ケアの意味を再考することの必要性。地域で生きる訪問看護ステーションの本来の意義を見定めながらその役割を本気で担っていく気概を持つこと。特に「訪問看護という仕事を10年続けてみよう。見えてくるもの、仕事のやりがいが出てくる」や「訪問看護という仕事に命を賭けてみる。凛として、美しくありたい」という言葉には強く動かされる思いを感じました。アンケートでも「主体性の大切さを思い出した」「また、頑張ろうと思いました」「本当に元気をいただきました」等の記載が多くありました。

第二部の懇親会は、参加者各々が背負っている悩みや訪問看護への思いなどを出し合いながら、時間を延長するまで盛り上がりました。また、お二人を囲んで実施したい、そう思わせる懇親会でした。



(中野医師会立なかの訪問看護ステーション：徳江幸代)

Welcome!!

若いっていいなあ……♡

医学生の実習を受け入れて

去る9月8日～19日まで東京慈恵会医科大学の3年生男子学生が2名、当ステーションにも初めて実習に来ました。この在宅ケア実習は、そわにえ vol.13でもご紹介しましたが、医学教育専門の福島教授の「地域は欠かすことの出来ない医療者教育の場」という言葉に、訪問看護を理解して医師になって欲しいという気持ちでお引き受けした次第です。結果、私たちもご利用者、介護者さん、在宅で頑張っている開業医の先生方にも大変好評でした。

偏差値の高い受験戦争に打ち勝ったどんな若き医師の卵たちがくるのかと、私たちもその登場を楽しみに待ちました。大学から届いている情報は、学生の名前と実習を受けるにあたっての抱負のようなレポートが来ているだけです。そして、すばらしい秋晴れとなった実習初日の朝、「おはようございます。今日から実習に来ました学生の〇〇です。」とさわやかな青年が玄関に立っているではないですか!!この1週間この青年が「訪問看護にややくたびれたジャージ姿のおばさんの館」ともいえる我がステーションに毎日来て、変わり映えのしないケアを続けているお宅へ一緒に行けるのです!!楽しい2週間になりそう。なんだか、うれしくなりました。

オリエンテーションのあと、予定通りいろいろなご利用さ

んのお宅に連れて行きました。あらかじめお願いをしていたお宅でも、医学生の実習を楽しみに待っていてくださり、いっしょにリハビリを頑張ってみせたり、医者とはこうあって欲しいと講義を始める介護者の方などもおられました。医学生をたいそう気に入ってしまった独居のHOTのおばさん(87歳)は、医学生を一目見るなり「看護婦さん、なんでこんないい男が来るって先に言ってくれないのよ。もっとちゃんとしたお茶菓子用意しとくのよ。全く!!」と怒られ、「あんたが医者になって診てくれるまで、わたしはずっと死なないから。」と誓いを立てていました。

今、医学生たちは大学で疾患の事など学んでいるようで、普通の家に病人がこれだけいることに驚いていたようです。「百聞は一見にしかず」とはこのこと、訪問看護がこれほど幅広い支援をしていること、それは信頼関係あつてのこと、それを築くまでの大変さ、チーム医療の大切さなどに感心して実習を終えたようです。彼らが医師になっていつかどこかで一緒に働けるまで、このジャージのおばさんたちは頑張れるかわからないけれど、ここで過ごした数日をずっと忘れないドクターになって欲しいと思いました。もう一度、「本当、若いってすばらしい。」と思います。

(上野訪問看護ステーション 天木弘子)

▶▶ 投稿募集

「そわにえ」は、訪問看護師による手作りの会報誌です。日々の仕事で感じた楽しかったこと、つらかったこと、感動したこと……、何でも構いませんのでお気軽にご投稿下さい。また、「みんなはどうしているのか知りたい」とか、「うちはこんな時こうしたらうまくいった!」といった情報もぜひお寄せ下さい。

表紙になる写真やイラスト、「ダーツの旅」へ掲載希望のステーションも大募集しています。また、広告を掲載していただける企業をご存じの方、ご紹介いただけたら幸いです。

次回冬号の発行は1月半ばの予定です。おたのしみに。

▶▶ 会員募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

10月1日現在の会員数

継続会員 278st 新規会員 17st 合計 295st

【連絡先】〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
東京都看護協会内 TEL 03-5229-1534

投稿、広告につきましては、fresca@r3.dion.ne.jp ステーションみけ・椎名までお問い合わせ下さい。

暑い夏、熱いオリンピックに歓声をあげ、アツい鍋で元気付けながら創りあげていった秋号がやっと完成しました。

編集後記

今年の夏は暑さに加え、無茶苦茶なゲリラ豪雨など、自転車で訪問している看護師さん方は大変でしたね。なんてことを思っているうちに、もうすっかり秋。食べ物が美味しい季節となりました。

次号では、今回ご紹介した厚生労働省老健局老人保健課に取材に行ってきます。まさに、来年度介護保険改定を所轄している課であります!今、要介護認定のモデル事業に関わっている管理者の方々も多いと思いますが、来年度認定審査会や介護報酬はどのように変化していくのでしょうか……。訪問看護師が士気高く、誇りをもって仕事を続けていけるような改定内容になることを祈るばかりです。

また、冬号では日帰り温泉紹介など、寒い冬を乗り切れるような企画も計画中です。何か良い温泉の情報をお持ちの方がいらしたら、投稿をお願いいたします。秋は自転車漕ぎも心地良い季節。みんなでより一層、訪問看護を楽しみましょう!
(訪問看護ステーションみけ 椎名美恵子)

「未来は、私たちが創る」

東京訪問看護ステーション協議会

平成20年度
スロマガ

どんな状態が要注意なのか、
カラー写真でよくわかる!

糖尿病フットケア アセスメントガイド

監修◆渥美義仁, 土方ふじ子

患者の足の状態や足に対する言動などから、どのような情報提供・技術指導が自宅のケアに必要なのか、医療者が行うべき処置は何か、アセスメントするポイントを解説。



ISBN978-4-521-73059-2
A6判/112頁
定価1,890円(税込)

読んでわかる! 見てわかる!
呼吸リハの実際

動画でわかる 第2版 呼吸リハビリテーション

編著◆高橋仁美, 宮川哲夫, 塩谷隆信

改訂にあたり最新のエビデンスを反映させたほか、「呼吸不全の病態生理」「作業療法」の項目を新規に追加。知識の生理に役立つコラムも充実。



ISBN978-4-521-73055-4
B5変型判/272頁
定価3,360円(税込)

エビデンスに基づく看護の総合誌

イービー・ナーシング
EBNURSING

年4回発行(12,3,6,9月) 定期購読
B5変型判/平均約130頁 年間5,880円(税込)

VOL.8 NO.4 ●特集

「気持ちいい」ときの
エビデンスの探究

編集◆菱沼典子

定価1,470円(本体1,400円+税)

中山書店 〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14 フリーダイヤルTel. 0120-377-883 フリーダイヤルFax. 0120-381-306 <http://www.nakayamashoten.co.jp/>

健康 睡眠

メディカルショップ 六本木店

見られる。試せる。相談できる。

最新情報の紹介から公的利用の相談まで、
看護師・専門のアドバイザーが丁寧に対応、
最先端の健康サロンとしてお気軽にご来店ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 4-1-16
六本木ハイツ 1F
TEL.03-5575-2180



営業時間 AM11:00 ~ PM7:00
定休日 毎週水曜日・年末年始

フランスベッド メディカルサービス
<http://www.homecare.ne.jp/>